

令和 7 年度 全国学力・学習状況調査の結果報告と その対策について

札幌市立簾舞小学校 校長

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

4 月 17 日（木）に 6 年生で実施しました「令和 7 年度 全国学力・学習状況調査」の結果の概要についてお知らせいたします。実施教科は国語・算数・理科の 3 教科でした。同時に行われた「児童質問調査」の結果も参考にし、子どもの健全な成長を支えていくことができるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

個人の結果用紙と問題用紙（国語・算数・理科）は 1 学期中に返却しました。「全国学力・学習状況調査」ホームページに正答例が掲載されていますので、復習に役立てていただきたいと思います。



「全国学力・学習状況調査」ホームページ

<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>



☆各教科、全国平均との差について分析しました。その中でも特に
課題のあった項目についてのみ抽出し、改善の方向を以下に説明しています。

① 児童の学力の状況と分析

	今回の調査における課題	改善の方向
国 語	【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ・ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること	・ 文章を書く時に、主語と述語、既習の漢字を使うことを意識付け、文章表現に関わる学習の場の充実
	【話すこと・聞くこと】 ・ 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること	・ 対話のある授業を増やし、目的や意図に応じて自分の考えとその根拠となる資料を明確にしながら、相手意識をもって適切に伝える活動の充実
	【書くこと】 ・ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること	・ 文章全体の構成やまとまりを読み取り、まとめる活動の充実
	【読むこと】 ・ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること ・ 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること	・ 物語を読んで登場人物の気持ちを叙述や描写から想像する活動の充実 ・ 説明文を読んで、見出しを付けたり、要約したりする活動の充実 ・ 図書館や寄託図書の活用などにより、幅広く読書に親しみ、多様な表現方法にふれる機会を増やす

	今回の調査における課題	改善の方向
算 数	【数と計算】 ・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分としてとらえること ・分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること	・基礎的な計算力の向上のため、反復練習と必要に応じた個別指導、少人数指導の充実 ・特に分数の計算に対する苦手意識が強いことを踏まえ、先生がいっぱいや専科指導等を活用する
	【図形】 ・基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できること	・図形を構成する要素や性質を理解し、面積の求め方や作図の仕方について考える算数的活動の充実
	【変化と関係】 ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見出すことができること	・問題場面から、表や数直線などを用いて、伴って変わる量の意味を理解する活動の充実
	【データの活用】 ・目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できること	・グラフや表等の種類や読み方を理解し、活用できるようにする活動の充実と、ITや先生がいっぱい等を活用した習熟問題への取組

	今回の調査における課題	改善の方向
理 科	【エネルギー】 ・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き寄せられるものがあることの知識が身に付いている ・電気の回路の作り方について、実験の方法を発想し、表現することができること	・金属や磁石の基本的な性質や引き寄せられるものについて理解する。基礎学力の定着のため、先生がいっぱいやITの活用 ・電気の流れ道の仕組みを理解するため、実験道具等の具体物を使って学習する機会の充実
	【粒子】 ・水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している	・水の温度の変化による様子の変化を体験に基づいて理解できるよう、実験やICT機器を使って学習する機会の充実
	【生命】 ・ヘチマの花の作りや受粉についての知識が身に付いている ・レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に新たな問題を見だし、表現することができる	・実物を観察したり受粉させたりと、体験的な活動の充実 ・条件操作の意味を理解したうえで実験する等、体験的な学習の充実
	【地球】 ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、結果や問題に対するまとめを基に、他の条件で結果を予想して表現することができる	・課題→問題解決→実験→考察(AAR)という理科の学習サイクルを明確にし、結果からわかることを考察する機会の充実

②児童質問調査の結果概要と分析

	◎全国平均よりも高かったもの ・ 全国平均と同程度のもの ▲全国平均よりも低かったもの
今回の調査の結果	【自己承認・相互承認】 ◎「将来の夢や目標をもっている」～9割以上の児童が「ある」と回答 ・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」～9割以上の児童が「ある」または「ときどきある」と回答 ▲「友達関係に満足している」～9割以上の児童が「当てはまる」と回答しており、「当てはまらない」と回答した児童がいないが、「当てはまる」だけを見ると全国平均より少ない ◎「人の役に立つ人間になりたい」 ※9割以上の児童が「当てはまる」と回答、「当てはまらない」は一人もいない ▲「学校に行くのは楽しいと思いますか」～「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」は9割以上だが、「当てはまる」だけを見ると全国平均より少ない 【主体的・対話的で深い学び】 ▲「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」～「どちらかといえば、当てはまらない」と回答した児童が多い ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」 ・「学習した内容を次に生かす」 【家庭での学習習慣】 ・「学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間勉強をするか」→全国平均よりわずかに多い ▲「休日の学習時間」～全国平均よりも下回っている 【家庭での生活習慣】 ◎「朝食を毎日食べていますか」→「あまり食べていない」「食べていない」の回答がいない
考察	○自己肯定感や人の役に立ちたい気持ち、将来の目標などをもっている児童が多いです。友達関係も総合的にみると良好だと答えている児童が多く、前向きに生活できると言えます。 ○教職員全員が子どもの理解者として、一人一人を大切にし、価値付けることで自己肯定感を更に高めていきます。また、学級で認め合い、高め合う関係を育むことで、温かな学校風土づくりにつなげていきます。 ○主体的・対話的な深い学びを実現するために、学習の楽しさだけでなく、友達の意見を聞く良さや友達の良さにもさらに目を向けていけるよう、交流を大切にしていきます。 ○学力向上の面から考えても、学校での授業の復習は大切です。自ら机に向かう学習習慣の確立を、低学年から実践して家庭での学習習慣の確立の一助としていきます。 ○携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機等の使い方、使用する時間等について、家庭での約束事を改めて確認していただければと思います。 ○ご家庭での学習のサポート、ならびに生活習慣の確立、ありがとうございます。特に朝食においては「食べていない」はいませんでした。これからも児童のサポートをよろしくお願いいたします。